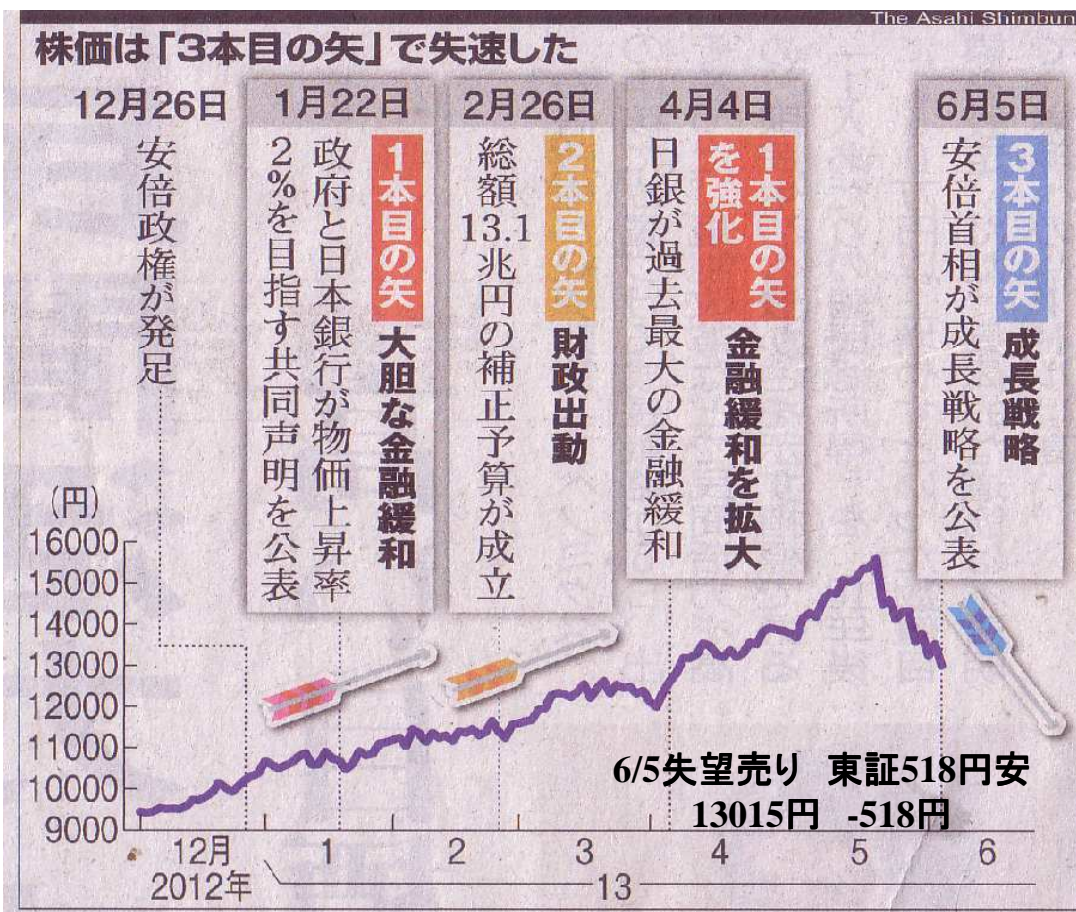


# 成長の矢 株安の洗礼

市場、アベノミクス懐疑

民間活力成長の柱に



■エコノミストは成長戦略をどう評価する？ (100点満点で何点?)

エコノミスト名	コメント	採点
熊谷亮丸氏 (大和総研)	農業や医療、労働など業界団体の反対が多い分野の改革に踏み込めていない。電力自由化や特区は評価できるが、やや小粒だ	60点
上野泰也氏 (みずほ証券)	混合診療や雇用の流動化をどうするか示されていない。さらに、人口減少という構造問題の解決策もみえない。迫力不足だ	50点
河野龍太郎氏 (証券BNPパリバ)	株式会社の農地取得や法人税減税など、目玉の政策が抜け落ちている。社会保障制度の機能不全をどうするかははっきりしない	40点
熊野英生氏 (第一生命経済研究所)	薬のネット販売は評価できるが、生まれる市場は多くても数千億円規模で、経済の起爆剤にはならない。他の規制緩和メニューも踏み込み不足だ	60~70点
山田久氏 (日本総研)	生活水準を上げる具体策がみえない。賃金を上げるための仕組みを政治・労働・経営者で考える場をつくる必要がある	65点
	金融政策や財政政策だけで	

## 首相が打ち出した成長戦略のポイント

- 第1弾 4月19日 「女性の活躍」**
  - 保育所定員を40万人増
  - 育休期間を3年に延長要請
  - 就職活動の解禁時期を3カ月後ろ倒し要請
  - 日本版NIH(国立保健研究所)の創設
- 第2弾 5月17日 「世界で勝つ」**
  - インフラ輸出を30兆円に
  - 世界大学トップ100に10校
  - 食料輸出を1兆円規模に
  - 設備投資を70兆円規模に
- 第3弾 6月5日 「民間活力の爆発」**
  - 1人あたり国民総所得水準を現在より150万円増
  - 市販薬のインターネット販売を原則解禁
  - 電力関係投資を30兆円規模に
  - 12兆円規模の民間資金の活用

# 安倍政権 戦略第3弾